

Course number		U-LAS02 10015 LJ37					
Course title (and course title in English)		言語科学Ⅰ Introduction to Linguistic Science I		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor,Nishiwaki Maiko	
Group	Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Arts, Literature and Linguistics(Foundations)		
Language of instruction	Japanese		Old group	Group A		Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters	2024・First semester	
Days and periods	Tue.5		Target year	All students		Eligible students	For all majors
[Overview and purpose of the course]							
言語科学あるいは言語学という分野が「ことば」をどのように捉えているかについて概観し、その多様性と普遍性について考察することを目的とする。							
[Course objectives]							
言語学の基本的な考え方を理解する。 母語や既習の外国語について言語学の観点から考えることができる。							
[Course schedule and contents)]							
本授業では下記の順に、まず、言語そのものの構造と意味・機能について概説し（第1回～第6回）、後半では、言語についてその歴史的変化や社会的変異、人間の言語としての普遍性、習得の観点から考察する（第7回～12回）。最後に、言語と文字の関わり（第13回）、また、古代から言語がどのように関心を持たれてきたかについても扱う（第14回）。							
1. 言語学とは 2. 言語の音（音声学・音韻論） 3. 語の構造（形態論） 4. 文の構造（統語論・テキスト言語学） 5. 語・文の意味（意味論） 6. 発話の意味（語用論） 7. 言語の変化（歴史言語学） 8. 言語比較（1）（比較言語学） 9. 言語比較（2）（言語類型論） 10. 世界の言語と日本語 11. 言語のバリエーション（社会言語学） 12. 言語習得 13. 文字論 14. 言語研究の歴史							
[Course requirements]							
None							

Continue to 言語科学Ⅰ(2)							

言語科学Ⅰ(2)

[Evaluation methods and policy]

授業への参加状況（20％）、小テスト2回（20％）、学期末試験（60％）に基づいて評価する。

[Textbooks]

Not used

授業でプリントを配布する。

[References, etc.]

（References, etc.）

斎藤純男 『言語学入門』（三省堂）ISBN:978-4385364216（2010年）

風間喜代三・松村一登・町田健・上野善道 『言語学 第2版』（東京大学出版会）ISBN:978-4130820097（2004年）

Victoria Fromkin / Robert Rodman / Nina Hyams 『An Introduction to Language. 11th Edition』（Wadsworth）ISBN:978-1337559577（2018年）

他は授業中に紹介する。

[Study outside of class (preparation and review)]

授業中に紹介する文献に目を通し理解を深めること。

[Other information (office hours, etc.)]